機能ID	機能名称			機能要件	実装区分			適合基準日
	大分類	中分類	小分類		指定都市	中核市	一般市区町村	
0040076	2 検索・照会・操作	2.1 検索	2.1.3 基本検索	外字検索、検索文字選択のためのサポート機能が提供されていること。具体的には外字を選択するための手書き入力、手書き入力による文字選択等が想定されるが、具体的な実装方法は規定しない。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040077	2 検索・照会・操作	2.1 検索	2.1.3 基本検索	西暦と和暦はそれぞれ対応する年に置き換えられ検索がされること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040079	2 検索・照会・操作	2.1 検索	2.1.3 基本検索	対象者を検索、選択後、該当者の1.1.1（戸籍の附票データの管理）のデータをCSV形式で出力する機能を備えること。	○	○	○	－
0040080	2 検索・照会・操作	2.1 検索	2.1.3 基本検索	異動者一覧を表示している状態で、検索条件を加えての再検索（絞込み）ができること。	×	×	×	－
0040081	2 検索・照会・操作	2.2 照会	2.2.1 異動履歴照会	個人や同一の戸籍の附票の者を特定した後に、1.2.1（異動履歴の管理）に規定する異動履歴を照会できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040082	2 検索・照会・操作	2.2 照会	2.2.1 異動履歴照会	1.2.1（異動履歴の管理）に規定する項目を用いて対象者の異動履歴を照会できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040083	2 検索・照会・操作	2.2 照会	2.2.1 異動履歴照会	複数の戸籍の附票にまたがる同一個人を単位として履歴を照会できること。	×	×	×	－
0040084	2 検索・照会・操作	2.2 照会	2.2.2 交付履歴照会	個人を特定した後に、1.3.5（交付履歴の管理）に規定する証明書の交付履歴（20.1.1（戸籍の附票の写し）、20.1.2（戸籍の附票の除票の写し）について、照会できること。なお、照会に当たっては、1.3.5（交付履歴の管理）に規定する項目から行えること。 また、コンビニで交付された場合も同様に照会できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040085	2 検索・照会・操作	2.2 照会	2.2.3 文字コード照会等	漢字文字の入力・照会については、拡大して入力・照会ができるとともに、文字コードの照会ができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040086	2 検索・照会・操作	2.2 照会	2.2.4 支援措置対象者照会	照会した支援措置対象者（併せて支援を求める者を含む。以下同じ。）の戸籍の附票データを確認する場合において、支援措置期間中又は仮支援措置期間中である旨が明示的に確認でき、1.1.13（支援措置対象者管理）の支援措置のデータベースに連携して、当該データベースの支援措置対象者の詳細情報を確認できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040087	2 検索・照会・操作	2.3 操作	2.3.1 キーボードのみの画面操作	端末のセキュリティを確保しながら、キーボードのみでも画面操作ができること。	○	○	○	－
0040088	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止	ー	支援措置対象者に対する抑止、排他制御（10.3（操作権限管理）参照）、その他の抑止を管理できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040089	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止	ー	各抑止機能について、異動入力、証明書発行、照会等の処理ごとに、個人及び同一の戸籍の附票単位で、抑止の開始日及び終了日設定ができること。 なお、抑止の終了日を経過しても、抑止は自動的に終了しないこと。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0040090	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止	ー	抑止が終了していない者について、抑止の一時解除ができること。 抑止の一時解除については、庁内各システムで誤って本解除として扱われないように、コンビニ交付システムを含む庁内各システムへのデータ連携は不要とすること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日